

多摩地域の登録検案医確保事業及び検案業務サポート事業の実施結果

①検案業務サポート研修会

		研修内容	出席者数
平成28年度	第1回	臨床医の立場での死体検案	14名
		頸部圧迫のいろいろ	
		すぐそこにある法医学 -身のまわりの死体現象-	
	第2回	死体検案とは(概論)	12名
		死因統計の重要性と現状	
		死体検案の実際(手順・手技と考え方)	
		死体検案の実際: 大学法医学の場合 死体検案の実際: 臨床医の場合	
	第3回	窒息のいろいろ	11名
		自殺者まぜ不合理な方法を用いるのか	
穿刺行為の手技と解釈			
平成29年度	第1回	信用できる検査、できない検査 ①死戦期・死後の血液・尿検査	14名
		死亡場所・状況からの死因を考える ①浴室	
	第2回	死体検案とは(概論)	11名
		死体検案の実際(手順・手技と考え方)	
		死体検案の実際: 大学法医学の場合	
		死体検案の実際: 臨床医の場合	
	第3回	日本法医学会の大規模災害・事故への支援	8名
		列車事故での支援経験から	
	第4回	信用できる検査、できない検査 ②死後の画像検査	12名
		死亡場所・状況から死因を考える ②トイレ	
平成30年度	第1回	透析患者の異状死 ①法医解剖データから	15名
		透析患者の異状死 ②臨床現場から	
		症例検討	
	第2回	死体検案とは(概論)	6名
		死体検案の実際(手順・手技と考え方)	
		死体検案の実際: 大学法医学の場合	
		死体検案の実際: 臨床医の場合	
	第3回	異常環境による死: 凍死	9名
		異常環境による死: 熱中症	
	第4回	精神疾患と異状死(1) 法医学の立場から	10名
		精神疾患と異状死(2) 臨床の立場から	
		症例検討	

※参加者数は多摩地区医師会員のみ

②東京都法医学ワークショップ

	内容	出席者数
平成28年度	1. 基調講演 ～東京都における死因究明の現状～	30名
	2. 都内における法医学教室の活動	
	3. 各機関との交流会、施設見学□	
平成29年度	1. 都内の各機関における活動の紹介□	26名
	2. 死因究明の現場で活躍する法医学者からのメッセージ□	
	3. 各機関との交流会、施設見学□	
平成30年度	1. 医学生と法医学者とを結ぶ交流会	3月23日 実施予定
	2. 法医学者による講演	
	3. 東京都内の法医学教室の紹介、施設見学□	

③今後の課題

下記の事項について、東京都死因究明推進協議会で検討・実施していく。□

- ・登録検案医になる要件の設定
- ・同行研修の実施について（研修内容、実施機関、対象者 等）